

第9回 ^{コッブ} C O P 29が開かれる

アゼルバイジャンの首都バクーで、11月11日～24日にかけて、**国連気候変動枠組**^{わくぐ}
み条約第29回締約国会議（C O P 29）^{ていやくこく コッブ}が開かれました。C O Pは、**地球温暖化（気**^{おんだんか}
候変動）^{たいさく}の対策について議論^{ぎろん}する会議です。

2015年にフランスの首都パリで行われたCOP21で採択された「**パリ協定**」^{さいたく}では、
世界の平均気温の^{じょうしょう}上昇を、18世紀なかばから19世紀ごろに起こった**産業革命**
のころとくらべてできれば1.5度未満におさえる目標を定めています。

今回の会議では、^{はってんとじょうこく}発展途上国の地球温暖化対策に対して先進国が支払う「**気**^し
候資金」の目標額を現在の3倍以上となる年間3000億ドル（約46兆円）以上に
引き上げることで合意しました。

パリ協定の参加国は2025年2月までに2035年までの新たな削減目標^{さくげん}を国連に
提出する必要があります。

チャレンジ問題

1 ^{コ ッ プ} C O P 29では「気候資金」についての合意が得られました。「気候資金」とはどのようなものですか。次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 産業革命によって地球温暖化を食い止めるためのお金
- イ 先進国の地球温暖化対策に対して発展途上国が支払うお金
- ウ 発展途上国の地球温暖化対策に対して先進国が支払うお金

2 日本の温室効果ガスの削減目標は、2013年の排出量とくらべて2030年までに何%減らすというものですか。次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 6%
- イ 26%
- ウ 46%

答え

1 ウ

2 ウ